

# 飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 佐藤 正道  
 ガバナー補佐 網代 智明  
 会長 石川 邦俊  
 幹事 紺野 容樹

情熱 行動  
 感動 共有  
 地区重点目標  
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大  
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践  
 3. 活動の情報発信  
 4. ネットワークの構築  
 5. ポリ才撲滅

2022 - 2023 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋  
 RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433  
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

2月は平和構築と紛争予防月間

世界理解と平和週間 (2月23日~3月1日)

## 第24回 [ 3096 ] 例会報告

令和5年(2023) 2月 2日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	23名
欠席会員	16名
出席率	58.97%

### 言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 小笠原尚史 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 高倉 怜 職業奉仕委員

◆お客様紹介 2021 学年度 (2021-2023) 飯坂RC奨学生 李 岳 さん

【2月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪

2月 15日 小笠原香織様(尚史会員) 2月 15日 高倉しおり様(怜会員)  
 2月 18日 佐藤 恭子様(喜市郎会員) 2月 21日 油井 貴子様(明則会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 2月 7日 紺野 容樹 会員  
 2月 27日 高倉 怜 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

### ◆会長の時間



先週は家族同伴の夜間例会でしたが、去年から延び延びとなっており、奥様方のご出席のもと、無事開催できたことにほっとしております。本日はお忙しいなか、そして道の悪いところ、例会にご出席いただきましてありがとうございます。明日は2月3日節分です。近年では、節分に恵方巻を食べる習慣が根付いておりますが、元々は関西の風習で節分に年神様の方向を向いて、願い事を浮かべながら、無言で食べることとなっております。関東や東北でも普及したのは、1998年頃にセブンイレブンさんで販売するようになったということがきっかけだそうです。調べ方によっては、京都で芸子さん達と一緒に食べて、節分を祝ったという風習もありますので、いろいろな風習があると思います。そして、明後日2月4日は立春です。旧暦の冬と新暦の春との境目です。日本には春夏秋冬の四つの節目があります。暖かい春が待ち遠しいということでもありますので、皆さんにも体に気をつけて頑張ってくださいと思います。今月は先ほど幹事からお話がありましたように、2月12日はインターシティミーティング、2月16日は福島ロータリークラブさんとの合同例会、2月22日は蕎麦会、2月27日は職場訪問を予定しております。単独例会としては本日が最後で、あとは移動例会で出張してまいりますので、皆さんのご参加をよろしく願いいたします。

ロータリーソング 四つのテスト



【奨学金の贈呈 李岳さん近況報告】 私は就職先の場所も決まって、今朝ちょうど書類がきたのですが、茨城の鹿島に決まりました。鹿島のカントリーがすぐ近くです。また、見学もできますので、ぜひ遊びに来てください。来月には私のスピーチがあるので、その時に職業についてなど、これからどう役に立てるのかということ、皆さんに紹介したいと思っております。最近では学校の終了に向かって頑張っています。これからも頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

### ◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」2月号 「ガバナー月信」2月号 No.8

B. 来信 ①国際ロータリー日本事務局及びロータリー米山記念奨学会より 「寄付金領収書」

### ◆地区の後期委員会総会についての報告 佐藤真也 地区公共イメージ・IT委員会副委員長

お手元にある月信をご覧ください。1月21日に地区の後期委員会総会が開催されました。地区の各委員長さん、委員会のメンバーが集まり、協議の上、前期の活動報告と後期の活動計画が発表されました。石黒研修委員長さんからは、各クラブ次年度モードになっているが、このままトップスピードで次年度にバトンを渡していただきたいというお話でした。また、地区の財団委員会からは予算はまだあるということでしたので、次年度で何か計画があれば、財団委員長と連携し、地区補助金の申請をしてみたいかというお話でした。また、米山奨学生の各クラブの受け入れ希望数がまだ足りないということですので、こちらもご検討いただければと思います。最後に私が所属している公共イメージ・IT委員会の方で、マスコミのトップインタビューということで冊子を作りましたが、月信で毎月連載するようになりましたのでご覧ください。クラブの公共イメージ委員会のメンバーだけではなく、全会員がクラブの広報という考えでロータリーの情報発信をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。



◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計32s】

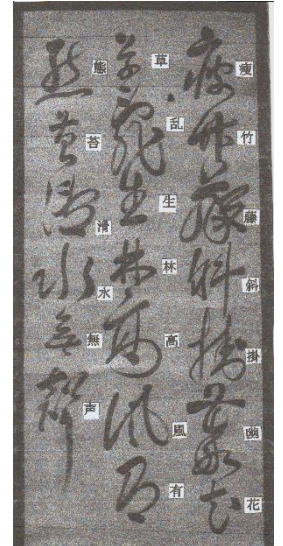
安齋 忠作 会員 5s	スピーチさせていただいて 松平定信についてお話をさせていただきます。	佐藤 喜市郎 会員 3s	忠作さんのスピーチ楽しみです。
吾妻 一夫 会員 5s	安齋さん、スピーチ楽しみにしています。	鈴木 義明 会員 3s	安齋さん、スピーチたのしみしています。
石川 邦俊 会員 3s	安齋会員、スピーチ宜しくお願い致します。	紺野 容樹 会員 3s	安齋会員のスピーチたのしみしていました。
油井 明則 会員 3s	安齋忠作さんのスピーチ楽しみにしています。		
斎藤 孝裕 会員 3s	安齋忠作さんのスピーチ楽しみにしております。		
菅野 浩司 会員 2s	安齋会員のスピーチ楽しみにしております。よろしくお願いたします。		
高倉 怜 会員 1s	忠作会員のスピーチ、楽しみにしております。	堀切 孝敏 会員 1s	前回早退おわび

◆会員スピーチ

安齋忠作 会員



今日は会員スピーチということでお話をさせていただきます。何のお話をしようかと考えまして、今回はお正月に毎年この掛け軸を出すので、これについてお話をしようかなと思います。松平定信白河城主は、皆さん知っている通り、領地巡視で堀切邸に滞在した時に、うちは農家ということで、近隣を案内いたしました。その時に、堀切邸には「詠帰亭」という額を、うちにはこの直筆をいただきました。諸般によりますと、その時はうちに持って来たところなのですが、うちの文書では堀切さんとうちは白河にもらいに行ったようです。それをこのように掛け軸にしました。自分もなかなか読めないで、前に飯坂支局にいた民報の菅野さんに頼んで、歴史に詳しい方々に読んでいただきました。何と書いてあるかをご説明いたします。『瘦せた竹に 藤が斜めにからみつき 草の茂みに 花はひっそりと咲いている 樹々の梢を 風はしなやかに



に咲き 滑らかな苔 水は音もなく流れる』とあります。その時に百姓を何十人も集めて大宴会をやったと言われていますが、当時は農家も冷害の時で、それだけの賑やかなことやったのかなとちょっと疑問が残ります。うちにある古文書もそういう時代のもので古い話ですが、我が家も私で14代目、約400年になります。これをいただいた人は六代目の忠右衛門という人です。その時に定信公を案内したということが書いてありました。所々読めないところもあるのですが、それなりに説明してみます。忠右衛門という六代目ですが、明和5年(1768年)に早くして母親に別れて、明和7年15歳の時に父親とも別れ、ずいぶん若くして両親が亡くなりました。この人も不幸続きの人で、明和7年には後ろの家から火をもらい全焼し、土蔵だけが残ったというような時代だったそうです。でも、たまたま会津から仕入れた蠟がだいぶあったので、それをなんとか売りさばくことによって、今の家を新築することができた記録には残っております。家は直したのですが、まだまだ近隣は荒れていたもので、摺上川の近くや平野を開拓し、畑や田んぼを作ったということも書かれております。その折、天明の大飢饉があり、松平定信公が地方巡回に来た時に案内をしたということが書かれております。一般の人たちも、草は根まで掘って食べたというようなひどい飢饉だったそうです。白河城主だった松平定信公は、住民のために貯めていた城内の米の倉庫を開いたと書かれております。その時に飯坂も領地だったので、少人数で堀切邸に来られ、泊まってこの辺を巡回されたそうです。先祖の忠右衛門が小川や飯坂を案内した時に、だいぶ荒れた所があってもつたいないと話されて見て行ったらしいです。ここに書かれてあるのですが、星の宮神社に立たれて、信達平野を眺め、霊山まで見える景色にすごい所だと感動されたようです。農業を復興させるためにはどうすればいいのかと考え、公金をもって地域を開発するというので、定信公も田畑を開発するだけではなく、多くの人に農業をやるように呼びかけたところ、小川にも人々が住み着いたという記録が残っております。そんなことで先輩たちが開いた農地を、我々もこれから維持していかなくてははいけないと思うのですが、なかなか今の現況では農業を担う人がいなくなって、農作地が放棄されると非常に残念だなと感じます。農家の立場として、まだまだ農業の振興というのをしていかなければならないと常々思っております。先輩方が汗水流して作ってくれた農地を、我々もまだまだ継承していかなければならないと思いますが、なかなか農業だけで経営が成り立つという時代ではないので、我々農家も一工夫しながらやってみていかないとかならないのかなと思っております。さっき説明を忘れたのですが、ここに落款が押されています。これは松平定信でなく源定信になっております。古い時代の徳川家は源ということがわかっております。他は読めなくて源の定信だけは読めます。安齋家の家系図ですが、福島東RCの故安齋俊昭さんは去年亡くなったのですが、あそこと私の先祖と、もう一人、三人の兄弟がいて、400年くらい前に一人は福島に行って、安齋俊昭さんの所は桑折、私の所は飯坂に移りました。初代ですが、天正13年に伊達政宗の父である輝宗が戦死しており、おそらく、その時に初代は百姓をやろうと来たようです。それ以来、百姓をやっております。その時にだいぶ開墾したようで、摺上川と仏坂の間を開墾し、変電所の手前も開墾しました。古い話で申し訳ないのですが、そういうことで定信公が一生懸命に飯坂のためにやってくれたようで、その記録がうちには残っております。今言った通り、小川の地や飯坂も農業については歴史がありますので、その一旦ではありますが、その話をさせていただきます。ありがとうございました。

瘦竹藤斜掛 瘦せし竹、藤に斜めに掛けり  
幽花草乱生 幽やかな花、草乱に生ず  
林高風有態 林高くして風に態有り  
苔滑水無声 苔滑らかにして、水に声無し

◆閉会点鐘 会長

■第9回理事会開催 2月2日(木) 13:30~「吉川屋」

《内容》①県北第二分区IMについて ②福島RCとの合同例会について ③1県北第二分区合同例会(川俣RC・蕎麦会)について  
④会員増強について ⑤親睦旅行について ⑥3月の例会プログラム ⑦その他  
《出席者》石川邦俊、紺野容樹、斎藤孝裕、菅野浩司、生田目正志、村上裕司、西條博之、佐藤真也、鈴木牧子、鈴木義明、渡辺達也、油井明則、佐藤喜市郎 以上の会員